

平成27年度施策評価調書

整理番号	3
評価担当課	経済部営業戦略室営業戦略課
職・氏名	

1 施策の名称等

施策名(基本事業)	国際交流の推進(1-5-2)		
総合計画の位置づけ	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
	主要施策	5	交流活動の推進

2 施策の現状分析と意図

施策の対象、意図(誰、何をどのようにしたいのか)	名寄市の姉妹都市(カナダ国リンゼイ市、現サワーサレイクス市)、友好都市(ロシア連邦サハリン州)との相互交流を推進する。また、台湾からの教育旅行受入、高校による交流を推進する。
施策の現状(現状どのような手段を講じているか)	市民団体「名寄・リンゼイ姉妹都市友好委員会」「名寄・ドーリンスク友好委員会」「名寄市・台湾交流実行委員会」の事務局として、交流活動を側面的に支援する。
施策の課題	市は事務局として、民間組織の活動が円滑に行えるように関係機関との調整を図っている。

3 成果指標の達成状況

成果指標	指標の説明	区分	H24	H25	H26	目標年度(年度)
親善訪問団交流(リンゼイ、ドーリンスク)	親善訪問派遣及び受け入れ	目標値	2	2	2	
		実績値	2	2	2	
		進捗率	100%	100%	100%	
交換学生交流(リンゼイ)	交換学生の派遣及び受け入れ	目標値	2	2	2	
		実績値	2	3	3	
		進捗率	100%	150%	150%	
台湾交流推進事業	台湾からの教育旅行誘致	目標値			2	
		実績値			3	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	150%	
台湾交流推進事業	台湾と名寄の高校による交流件数	目標値			2	
		実績値			5	
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	250%	
		目標値				
		実績値				
		進捗率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

4 施策の達成状況

施策の達成度	理由・問題点等	評価基準
A	訪問団や交換学生の交流など、お互いにとって良好な関係を築いてきており、事務局として支援する形で今後も継続する。	A: 計画目標に向けて順調に推移 B: 計画目標に向かって概ね順調 C: 計画目標に向けて進捗はやや遅れている D: 計画目標に向け進捗は遅れている

5 今後の方向性

今後も市民団体の活動の支援を続ける。

6 ワーキンググループの意見等

1次評価のとおり

7 外部評価の意見等

1次評価のとおり

8 2次評価の意見等

1次評価のとおり

9 施策を構成する事務事業

(1)H26年度実施事業

事業 番号	事務事業名	事業の概要	H26決算額	1次評価						外部 評価	2次 評価
				妥当性	有効性	効率性	公平性	達成度	評価		
1	国際交流事業	交流活動を行う市民団体 への支援、国際関係団体と の協力	1,964	a	a	a	b	b	A		
2	台湾交流推進事業	台湾からの来訪者拡大、リ ピーター候補の獲得、国際 性豊かな青少年の育成等	3,957	a	a	b	b	a	B		

(2)その他の取組(既に終了した事業や予算を伴わない取組等(1)以外の取組を記入してください。)

--

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	3	枝番	1
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略室 営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	国際交流事業(友好都市、交流都市関係)			
総合計画の位置づけ	有 ・ 無	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
		主要施策	5	交流活動の推進
		基本事業	2	国際交流の推進
		実施計画事業	1	姉妹都市・友好都市交流の推進

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	市民団体との連携により、海外の姉妹都市(リンゼイ市・現カワーサレイクス市)・交流都市(ドーリンスク)との絆を一層深め、国際交流を推進する。また、国際関係団体との協力による海外物産展への参加等の活動を行う。					
対象(何を又は誰を)	リンゼイ、ドーリンスク各友好委員会、国際関係団体					
手段＝活動(仕事)(どのような方法で)	各友好委員会の活動を支援する。また、国際関係団体の各種活動に参加する。					
意図(どのような成果を期待しているか)	これからのまちづくりに必要な国際化に対応できる人材を育成する。					
事業実施主体	リンゼイ、ドーリンスク各友好委員会、名寄市					
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等	請負	その他()
事業実施期間	始期	年度	終期設定	有 (終期	年度)	無
根拠法令・条例等						

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容	単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
				目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1 親善訪問団交流(リンゼイ、ドーリンスク)	回	目標					
			実績	2	2	2	2	
	2 交換学生交流(リンゼイ)	人	目標					
			実績	2	3	3	2	
3		目標						
		実績						
成果指標	1		目標					
			実績					
	2		目標					
			実績					

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳	
事業費	1,587	2,350	1,964	1,638	国際交流事業(友好都市、交流都市)	
国道支出金					・旅費 165	
地方債					・旅費需用費 34	
その他					・名寄・ドーリンスク友好委員会補助金 500	
一般財源	1,587	2,350	1,964	1,638	・名寄・リンゼイ姉妹都市友好委員会補助金 500	
人件費	2,506	2,486	2,486	2,486	・その他負担金 766	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629		
担当職員数	0.38	0.38	0.38	0.38		
総事業費	4,093	4,836	4,450	4,124		
対前年比(%)	-	118	92	93	コストの算出方法	
事業コスト	活動指標1	2,047	2,418	2,225	2,047	事業費/実施回数
	活動指標2	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	794	事業費/受入人数
	活動指標3					

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	
改善点	指摘事項 有 () ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 4		
市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	友好委員会の支援により、交流に向けた活動が継続的に進められている。また、国際関係団体との協力により、名寄とカナダ、ロシアとの交流が進められている。これらの結果、国際交流の基盤が築かれている。
有効性 4		
目的を達成するための方法として有効か？	a	名寄市として、現状で必要となる支援や活動参加を行っている。
効率性 4		
経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	a	友好委員会に対しての補助金により活発な活動が展開されていることと、国際関係団体に参加することで情報共有や物産展の参加など、経費に見合う効果が発揮されている。
公平性 3		
受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	友好委員会の活動は活発で主体性もあり、今後も発展が期待できる。
達成度 3		
活動指標、成果指標の達成度は？	b	交流対象の人数は外国への訪問のため多くないが、継続した取り組みにより友好関係や外国へ興味のある市民は増加しているとみられる。

ち

5 1次評価

評価結果	理由	
A	姉妹都市、友好都市との長年の交流により、市民の国際化社会に対する意識の高揚が図られつつあり、活発な友好委員会の活動を通じ、地域社会の新たな展開が期待できる。	
A:現状のまま継続	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
B:進め方を改善		
C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)		

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	1次評価のとおり

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	1次評価のとおり

平成27年度事務事業評価調書

整理番号	3	枝番	2
評価担当課・係・職名・氏名	営業戦略室 営業戦略課		

1 施策体系と事務事業

事務事業名	台湾交流推進事業			
総合計画の位置づけ	有・無	基本目標	1	市民と行政との協働によるまちづくり
		主要施策	5	交流活動の推進
		基本事業	2	国際交流の推進
		実施計画事業		

2 事務事業の概要等

目的(何のために)	来道外国人観光客最多の台湾から、名寄市をはじめ天塩川流域市町村への誘客を図るとともに、教育、スポーツ、経済等の広範な交流及び魅力ある地域資源を活用した、経済の活性化に寄与することを目的とする。			
対象(何を又は誰を)	天塩川流域市町村民、台湾住民			
手段＝活動(仕事)(どのような方法で)	台湾との交流を推進する目的で設立した名寄市・台湾実行委員会に補助金を支出し、行政と連携した効果的な事業の推進を図る。			
意図(どのような成果を期待しているか)	台湾からの来訪者拡大及びリーダー候補の獲得。国際性豊かな青少年の育成。交流人口拡大による地域活性化等。			
事業実施主体	名寄市・台湾交流実行委員会			
事業実施方法	直 営	一部委託	全部委託	補助等 請負 その他()
事業実施期間	始期	H25 年度	終期設定	有 (終期 年度) ・ 無
根拠法令・条例等				

3 事務事業の現状

(1) 達成状況等の推移

	指標名及び内容		単位		H24	H25	H26	H27見込	目標年度 (年度)
	1	2			目標	実績	目標	実績	目標
活動指標	1	教育旅行誘致活動		目標	—	1	1	1	
		誘致モニターツアーの実施		実績	—	1	1	—	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
成果指標	1	教育旅行実施		目標	—	2	2	2	
		教育旅行受入件数		実績	—	3	1	—	
	2	交流事業		目標	—	2	2	2	
		高校との交流件数		実績	—	5	1	—	

(2) 事業費の推移

(千円)

区分	H24決算	H25決算	H26決算	H27予算	平成26年度の事業費内訳
事業費	0	4,269	3,957	4,415	名寄市・台湾交流実行委員会補助金 3,957千円
国道支出金					・中学生野球交流 2,649千円
地方債					・教育旅行受入 1,308千円
その他					
一般財源		4,269	3,957	4,415	
人件費	0	0	0	0	
平均給与額	6,683	6,629	6,629	6,629	
担当職員数					
総事業費	0	4,269	3,957	4,415	
対前年比(%)	—	#DIV/0!	93	112	コストの算出方法
事業コスト	活動指標1		1,423	3,957	総事業費/教育旅行受入件数
	活動指標2				
	活動指標3				

※H26及びH27年度平均給与額は仮の数値です

(3)事業スタート後の情勢変化やこれまでに取り組んだ改善点

情勢の変化	H26年度、北海道を訪れる外国人観光客は過去最高となった(うち台湾が最多)。
改善点	指摘事項 有 () ---

4 事務事業の点検

以下の視点から点検し、(a:高い、b:やや高い、c:やや低い、d:低い)から選択し、その理由等を記入すること。

項目	評価	判定した理由・説明等
妥当性 市が主体的に実施すべきか、社会・市民ニーズに適合しているか？	a	本事業は、総計実施計画搭載事業である。次世代を担う国際性豊かな青少年の育成及び交流人口の拡大による地域活性化を図るために必要な事業である。
有効性 目的を達成するための方法として有効か？	a	本市と台湾の青少年が相互に国際理解を深めるためには、野球や授業等を通じた交流を行うことは有効な手段である。亜熱帯の台湾に住む人々にとって、おいしい食べ物が豊富で、雪深く寒い北海道は魅力的な観光地であり、台湾をターゲットとすることは有効であるとともに、教育旅行で受け入れる人数は30数人で、本市での宿泊、スキー体験等をするに当たり、適正な規模である。
効率性 経費に見合った成果が発揮されているか、コスト削減の余地はないか？	b	台湾の青少年と交流することで、市内の青少年の異文化理解が深まっているとともに、2年連続で台湾からの教育旅行を受け入れることで、地域経済への効果をもたらしている。なお、次年度以降、台湾国際教育旅行連盟を通じた誘致活動にシフトすることで、コスト削減を図る予定である。
公平性 受益者負担は適正か、受益者に偏りがないか？	b	中学生野球交流事業については、野球部の中学生に限定されるが、台湾及び杉並区で交互に開催される交流自治体親善野球大会は、杉並区のお声掛けにより参加できるようになった事業である。また、台湾及び杉並区の配慮により、単独で他のスポーツ交流等を行うよりも経費の負担が少なくない。参加費用については、他の交流事業を参考に設定されており、適正と考える。
達成度 活動指標、成果指標の達成度は？	a	過去2年の活動指標の達成率は100%。成果指標では150%で目標を上回っている。

5 1次評価

評価結果	理由	
B	教育旅行の誘致活動は、H25から本年までの3年間について、助成金を活用して行っており、コストの削減を図る必要があるため。	
A:現状のまま継続 B:進め方を改善 C:規模・内容を見直し D:抜本的な見直し(廃止・縮小)	改善の方向性(評価B,C,Dの場合には必ず記入すること)	
	3年間で築いた台湾とのパイプや杉並区との連携により、誘致活動を行う。	

6 ワーキンググループ評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
B	1次評価のとおり

7 外部評価(1次評価に対する提言等)

評価結果	提言等
A	杉並区が縁でできた関係を更に連携を図って、台湾とのパイプを太くする上でも、現段階の評価としては可能性を秘めている事業であるため、現状のまま継続すべきと判断する。

8 2次評価(1次評価、外部評価を受けての最終評価)

評価結果	意見等
A	外部評価のとおり